

SD ドライブの 固定方法



目的

DTU-1 三要素解析ソフトの SD カード読取を行ったときに「ドライブ〇に SD カードをセットしてください」とエラー表示されて、運行データが読み取れないということが起きます。

それを防ぐために SD カードリーダーのドライブを固定させることも可能です。



なぜそのようなことが起きるのか

パソコン上で、ドライブ文字の割り当ては、システムの起動時に自動的に行われるようになっております。

通常は、フロッピー・ドライブが A または B ドライブに割り当てられ、C ドライブ以降にハードディスクや CD-ROM ドライブなどが順次和訳ドライブ文字が割り当てられます。そのため、通常時 SD カードリーダーを E ドライブで使用していて、パソコンより取外し、他の USB メモリなどを使用した場合、USB メモリを E ドライブで認識してしまうことがあります。

E ドライブで認識した USB メモリが刺さったまま、SD カードを接続しようとする、SD カードは他のドライブとして割り当てられてしまいます。

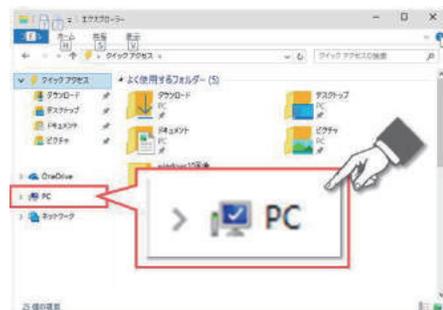
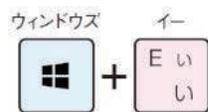


運行データを読み取れるようになる方法

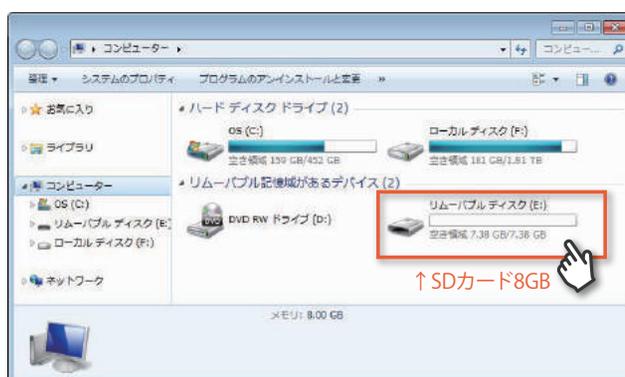
- ① キーボードで、windows キーと E を押します。

※Windows10 の場合

左図で出てきた画面の左側の項目の中に「PC」をクリックします。

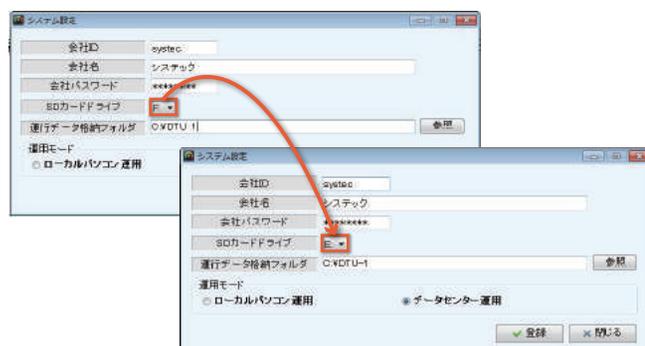


- ② SD カードを認識しているドライブを確認します。(※1)



- ③ DTU-1 三要素解析ソフトのシステム設定で設定しているの SD カードドライブを確認します。

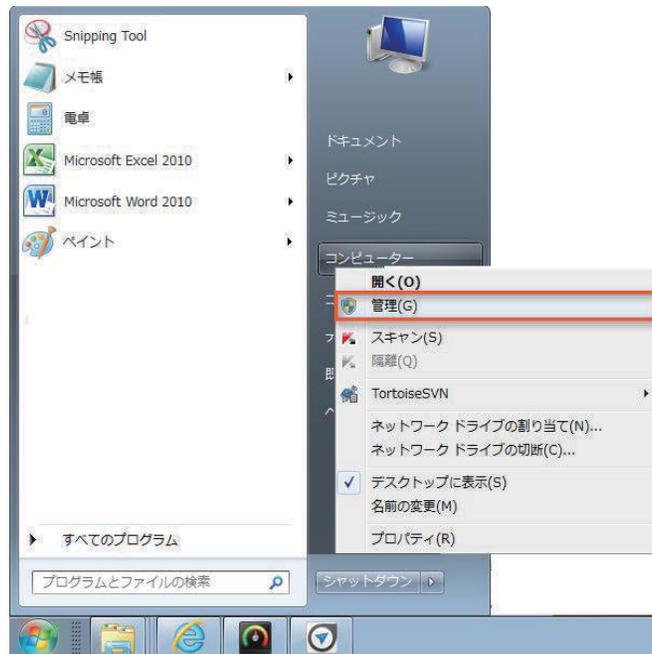
- ④ DTU-1 三要素解析ソフトのシステム設定の SD カードドライブを SD カードを認識しているドライブ番号 (※1) に変更します。



- ⑤ SD カード読取を行います。

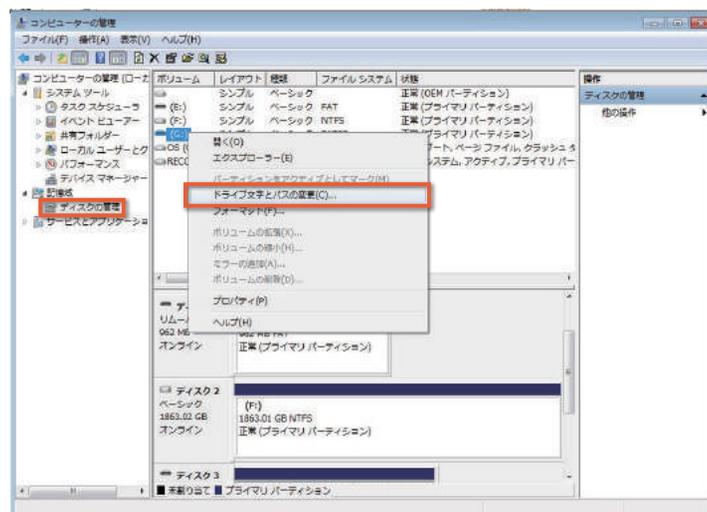
SD カードを固定するには

- 1 スタートボタン→コンピュータを右クリック→「管理」を選択します。



- 2 コンピュータの管理の中の「記憶域」から「ディスクの管理」を選択します。

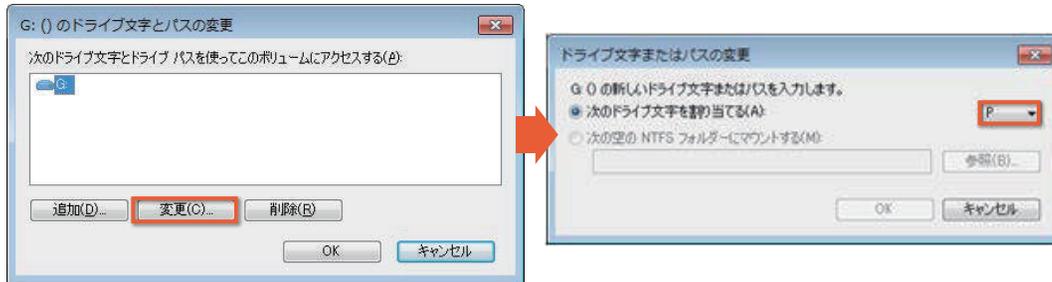
- 3 SD カードのドライブを選択して、右クリックして「ドライブ文字とパスの変更」を選択します。



4 「次のドライブ文字を割り当てる」がチェックされていることを確認し、

ドライブ名を変更して OK をクリックします。

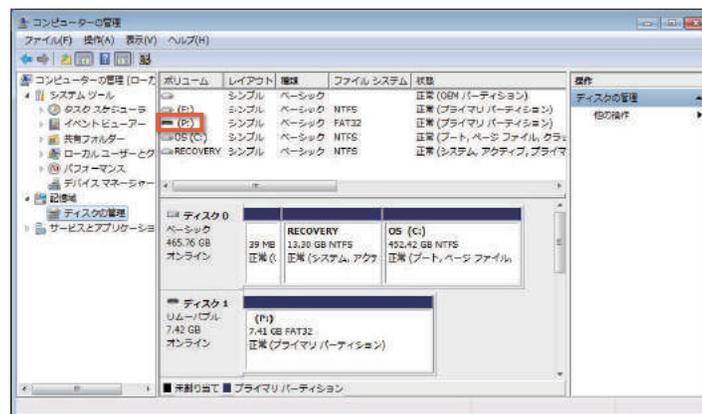
※C～Jは良く使われるドライブなので、J以降のアルファベットを割り当てると他のリムーバブルディスクで使用される可能性が低くなります。



5 ドライブ文字に依存する一部のプログラムが正しく動作しなくなる場合があります。

続行しますか？」が出てきたら、「はい」をクリックします。

6 G から P になったことを確認します。



7 コンピュータでも、G から P になったことを確認します。



- 8 DTU-1 三要素解析ソフトのシステム設定のSD カードドライブを固定したドライブ番号に変更します。



- 9 USB をパソコンに何本挿しても、SD を認識しているドライブは変わらないようになります。

